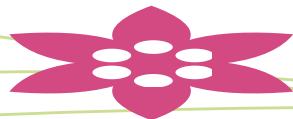




うさぎの耳

聴くことは社会貢献の第一歩！



第57号（2021年9月1日）
福津市社会福祉協議会内

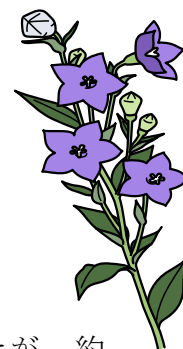
◇ 社協、福津市、包括支援センター等からのお知らせ

- 1 市民団体が感染症対策に要した諸費用に対して、市から補助金が交付されます。
ウエットティッシュ；パーティション；非接触体温計、マスクなどを申請します。

◇ 会からのお知らせ

再三再四にわたる緊急事態宣言の延長で、遍くあらゆる活動が制限されほほえみにおいても施設、在宅いずれも活動を中止しています。このような中、傾聴活動へのモチベーションを維持するのは難しい事ですが、お持ちの参考書などを復習され初心に立ち戻り、自分なりの理想像を確立され、活動再開に備えるようにして下さい。

- 1 9月の定例会は、21日（火）です。
- 2 ふれあいコール関連：7月の件数は13件、8月は15件でした。
- 3 9月の癒しのカフェは、中止しました。10月は1日（金）です。



◇ 会員の広場

定年後をどう生きる 岩田 博子 会員

定年退職後は、母の介護に追われながらも将来を見据えた計画を立てていましたが、約10年の介護生活終了後、思いがけないことに自分が病を得て、病院のお世話になりましたが体調も徐々に回復するに至りました。

その頃、福津市に傾聴ボランティア「ほほえみ」があることを知り、会員になりました。概ね年に一回計画される傾聴研修会にもその都度参加して、傾聴とは一体何か、傾聴活動をするに当たっての心構えなどを講師の方々から直に指導して頂き、その奥深さを知ることが出来ました。また、月に一度の定例会や傾聴カフェなどの場で多くの会員との交流においてこれまでとは違った面からの知己を得ることも出来ました。

研修会や先輩会員の方々から得た知識技能を実地に生かすため、会員の方と一緒に高齢者福祉施設も訪問しました。そこに生活されている高齢者の方々とお話し相手になるのは、考えていたほど容易ではありませんでした。母の介護で高齢者とのお話の性質はどんなものかとある程度分かっていたつもりでしたが、これまでの来し方、考え方、生活態度などは、母とは全く異なる高齢者を相手にする事の難しさを実感したところでした。

令和元年頃から全国的にコロナ禍が広がり、その影響で施設での傾聴活動は中止していますが、私にとっては、このコロナ禍は「一寸先は闇だな」と落ち込むこともありますが、ワクチン接種の接種率の向上のニュースを耳にして明るい日差しが見えてきたので、元気を取り戻せるのではと喜んでいきます。

